

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第188集

# 西一里塚遺跡Ⅱ

NISHI ICHIRIZUKA

長野県佐久市平塚・根々井  
西一里塚遺跡発掘調査報告書

2011.3

長野県佐久建設事務所  
長野県佐久市教育委員会

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第188集

# 西一里塚遺跡Ⅱ

NISHI ICHIRIZUKA

長野県佐久市平塚・根々井  
西一里塚遺跡発掘調査報告書

2011.3

長野県佐久建設事務所  
長野県佐久市教育委員会

# 例 言

- 1 本書は、平成15年から平成22年に調査した長野県佐久市岩平塚・根々井に所在する西一里塚遺跡Ⅱの発掘調査報告書である。

遺跡名	西一里塚遺跡Ⅱ
所在地	長野県佐久市平塚・根々井
調査面積	1,552㎡（本調査）
開発主体者	長野県佐久建設事務所
開発事業名	県単道路改築事業（塩名田・佐久線）
調査期間	平成15年11月14日～平成23年3月18日

- 2 本調査は、長野県佐久建設事務所の委託を受けた佐久市教育委員会が実施した。
- 3 調査は、羽毛田卓也を担当者とし、地元の皆様をはじめ多数の方の協力を得て実施した。
- 4 本遺跡に関わるすべての資料は、佐久市教育委員会の責任下に保管されている。
- 5 本書の執筆・編集は、羽毛田卓也が担当した。

# 凡 例

- 1 遺跡の略称 N I II
- 2 遺構の略称 住居址 → H  
溝 → M
- 3 遺構・遺物の縮尺は各図中にスケールを付したので参照されたい。
- 4 本文・表・図版等の番号（例12-3）は挿図番号（例第12図3番）と対応する。
- 5 ピット付近の（-）数値は、確認面から底面までの深度を表す。
- 6 遺構断面図中の「—」上の数値は標高を表す。
- 7 土層説明中の土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・（財）日本色彩研究所色票監修1992年度版『新版標準土色帖』の表示に基づいた。
- 8 写真図版中の遺物の縮尺はその都度明記し、明記のないものは任意の縮尺である。
- 9 土層説明中の粒子表記は世界標準の「堆積物粒径分類」に基づいた。

名称	礫・パミス				砂			泥	
	巨礫	大礫	中礫	細礫	粗砂	中砂	細砂	シルト	粘土
直径 (mm)	256 以上	256～64	64～4	4～2	2～0.5	0.5～ 0.25	0.25～ 62/1000	62/1000～ 4/1000	4/1000 以下

- 10 写真図版中の遺物の縮尺は1：25である。

# 目 次

例言・凡例

目次

第 I 章 発掘調査の経緯	1
調査に至る動機と遺跡の環境	1
調査の概要	2
調査の体制	3
第 II 章 調査の記録	6
写真図版	16

# 第 I 章 発掘調査の経緯

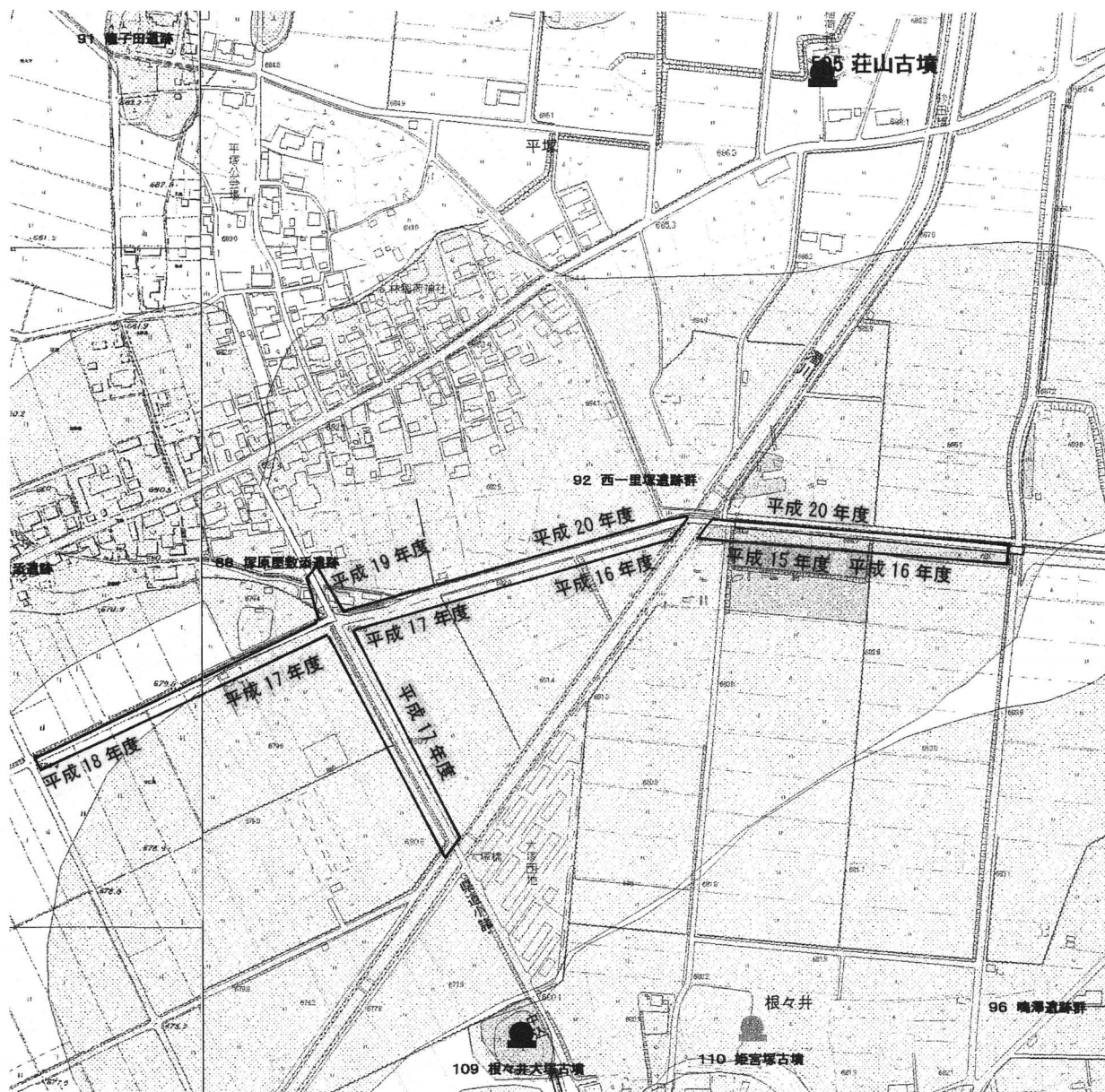
## 調査に至る動機と遺跡の環境

西一里塚遺跡は、佐久市平塚・根々井に所在する。本遺跡は佐久平北方に聳える浅間山に源を発する濁り川の影響によって成立した帯状低地に挟まれた帯状低台地上（標高679m～685m）に展開する弥生時代を主体とする遺跡である。西一里塚遺跡は、過去2回の調査によって、弥生時代後期の遺構が検出されている。今回の調査地点は、遺跡東端の標高684mの台地縁に位置する。

今回、長野県佐久建設事務所が行う県単道路改築事業（塩名田佐久線、小諸中込線）に伴い、同事務所と佐久市教育委員会とで協議の結果、試掘調査を行い、遺構の有無を確認しつつ調査を行うこととなった。なお調査は佐久建設事務所より委託を受けた佐久市教育委員会が主体となって行う運びとなった。



第1図 西一里塚遺跡II位置図 (1 : 50,000)



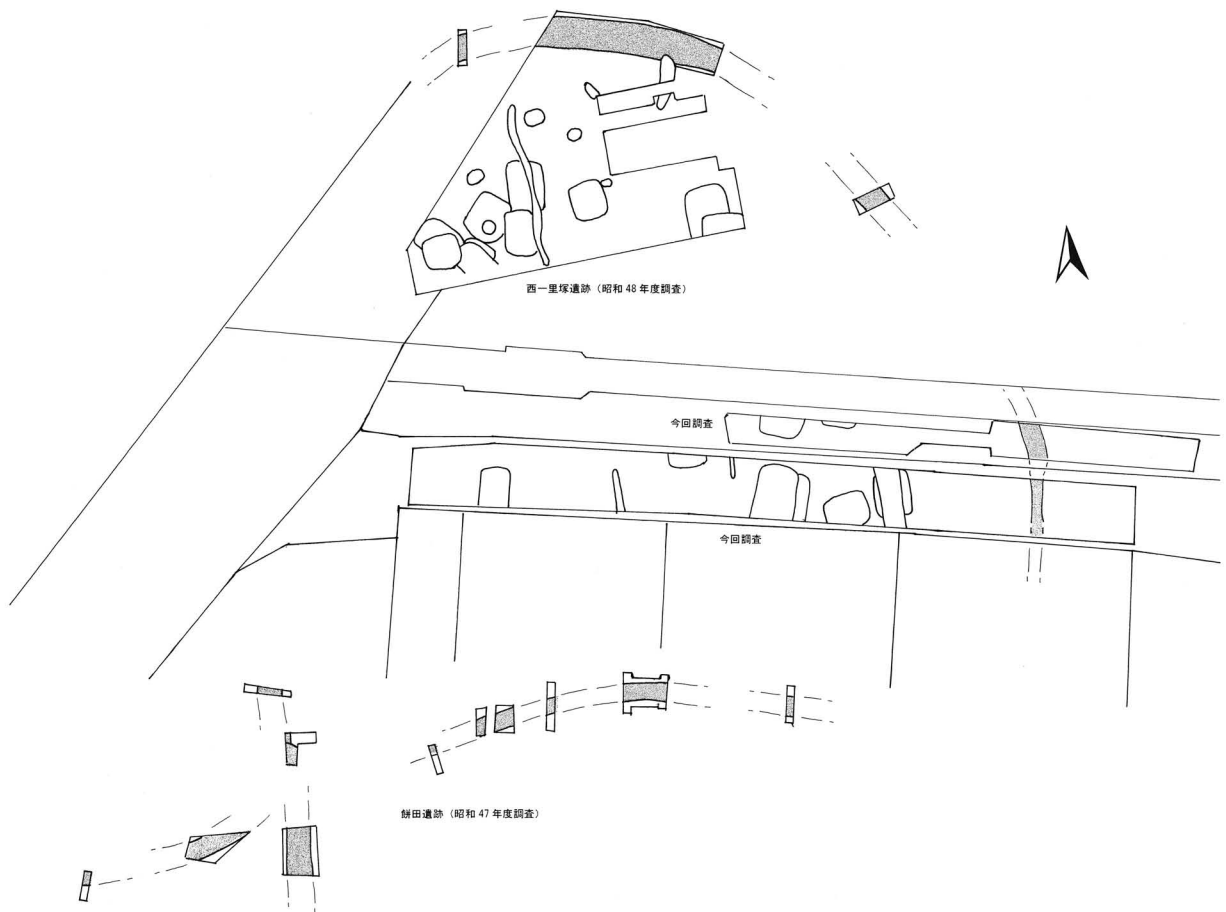
第2図 西一里塚遺跡Ⅱ位置図 (1:5,000)

## 調査の概要

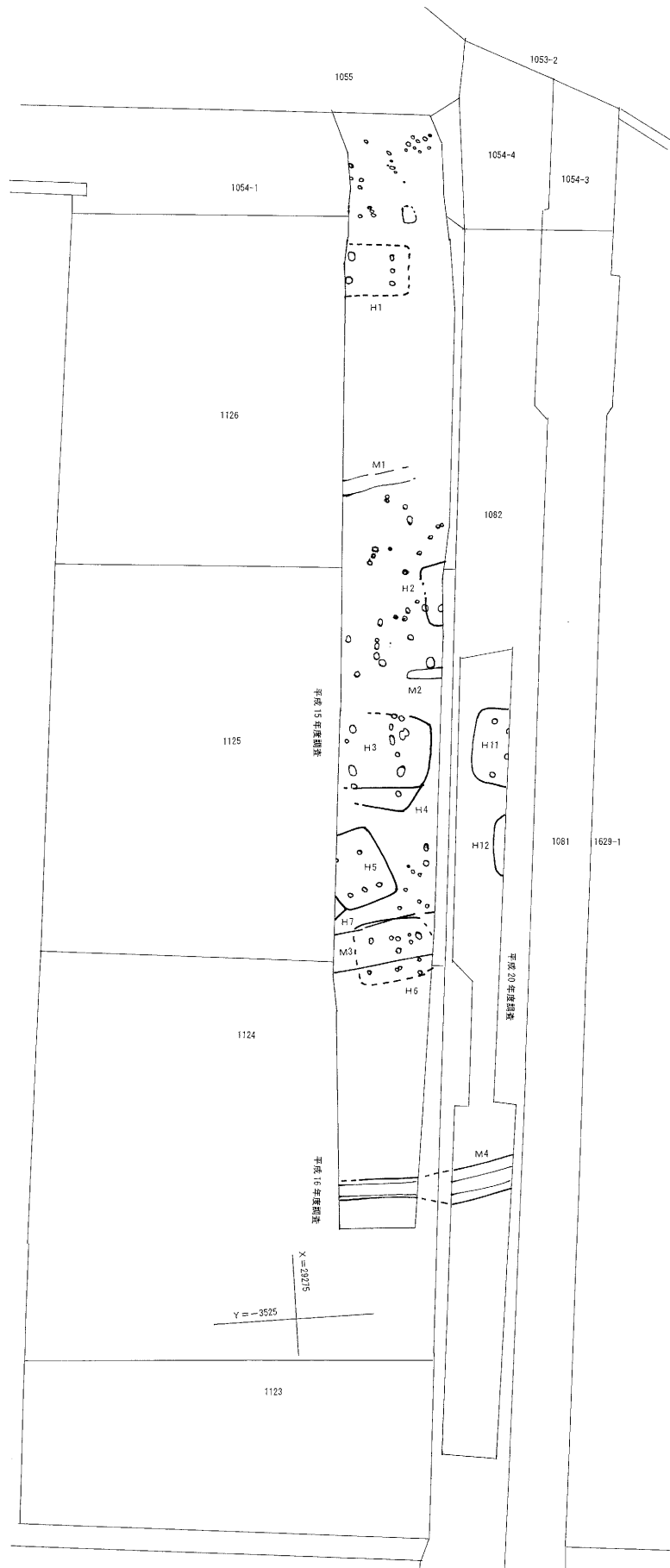
遺跡名	西一里塚遺跡Ⅱ	
所在地	佐久市平塚239-1、根々井1042-1、1082、1126、1125、1124、1123他	
調査面積	1,552㎡(本調査) 対象面積13,200㎡	
調査期間	平成15年11月14日から平成23年3月18日	
調査遺構	弥生時代後期後半の柱穴址	9軒
	ピット群	2箇所
	弥生時代後期の溝址	4条
	中世以降の竪穴遺構	1軒
	弥生時代後期の遺物包含層	2箇所

# 調査の体制

事務局	佐久市教育委員会 社会教育部 文化財課 (平成22年度)
教育長	土屋盛夫
社会教育部長	工藤秀康
文化財課長	森角吉晴
文化財調査係長	三石宗一
文化財調査係	林幸彦、並木節子、須藤隆司、小林眞寿、羽毛田卓也、富沢一明 上原学、井出泰章、出澤力

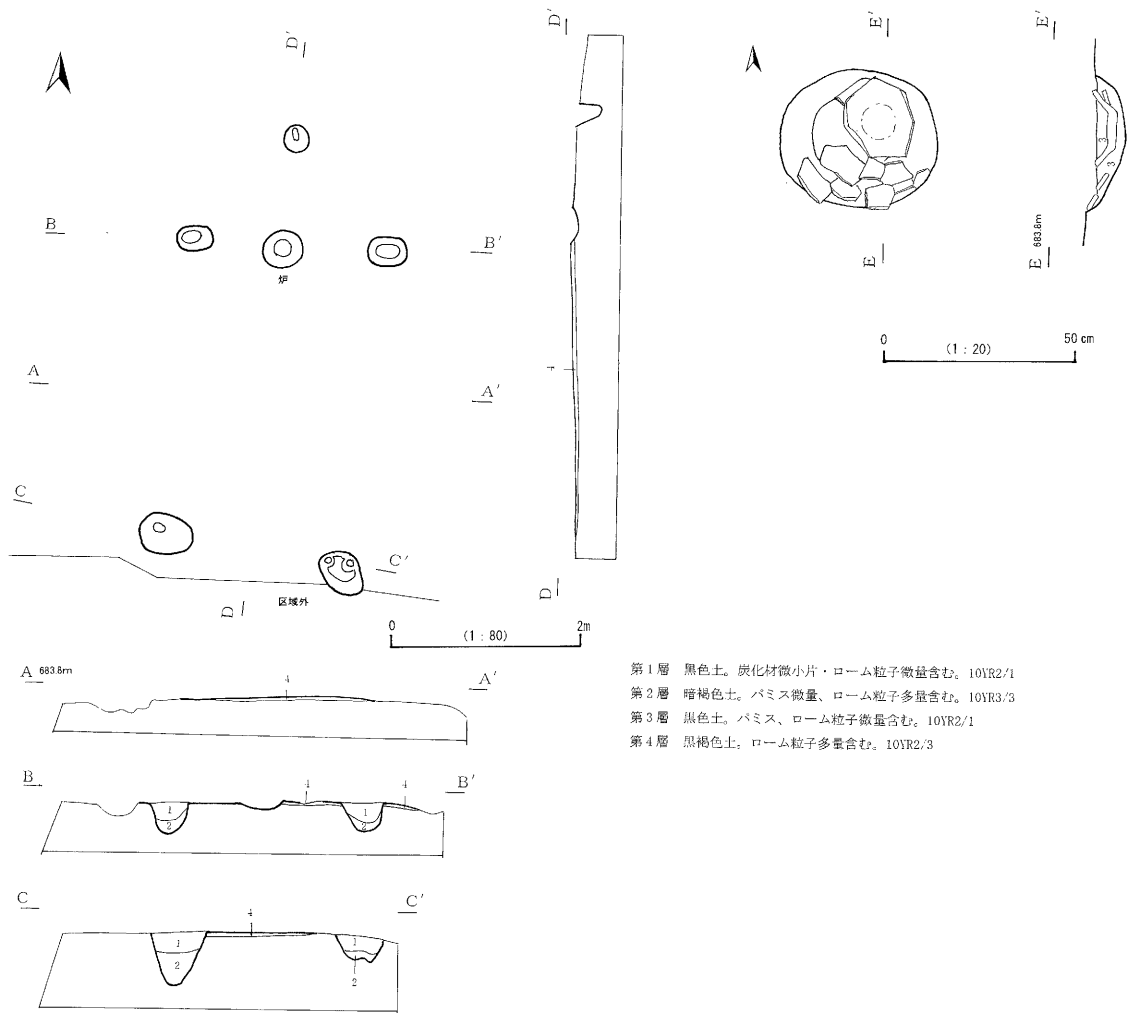


第3図 西一里塚遺跡調査全体図 (1:1,000)

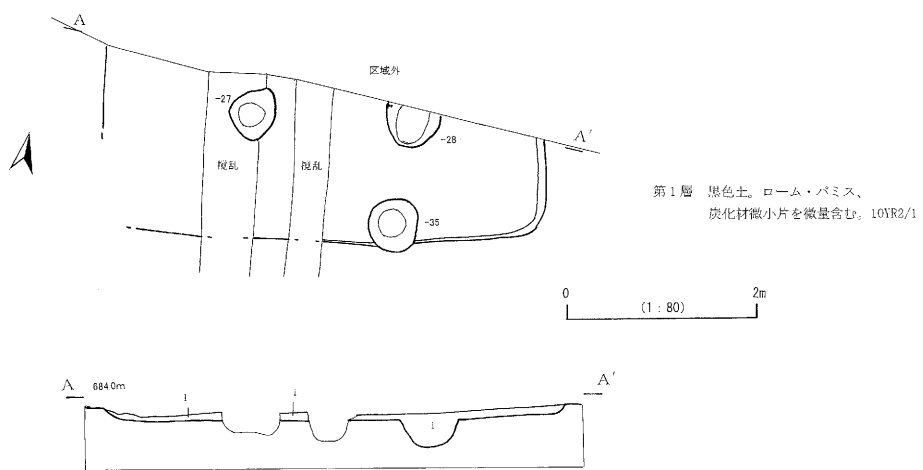


第4図 東側調査区全体図 (1:500)

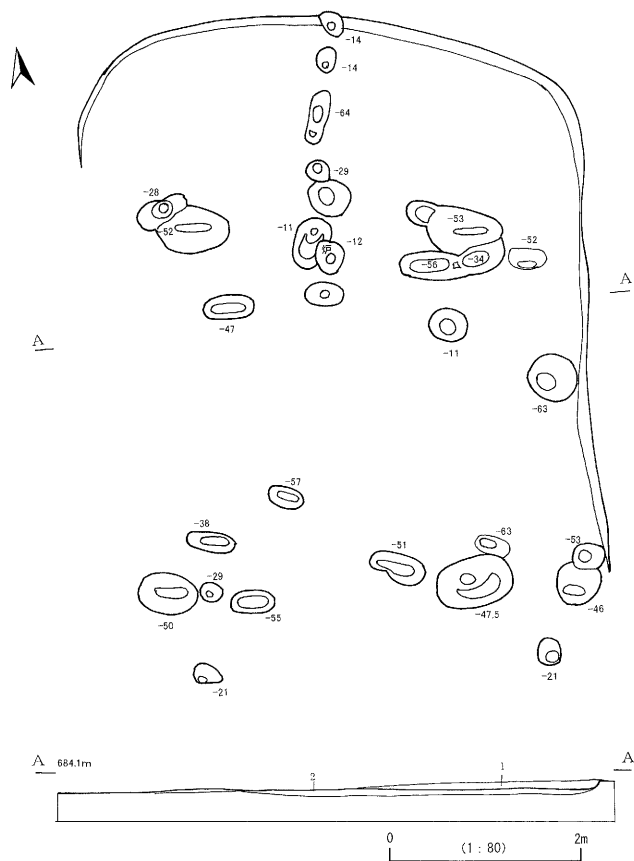




第5図 第1号住居址実測図



第6図 第2号住居址実測図



第1層 黒色土。ローム・パミス微量含む。10YR2/1  
 第2層 黒褐色土。ローム少量、パミス・炭微小片を微量含む。10YR2/2

第7図 第3号住居址実測図

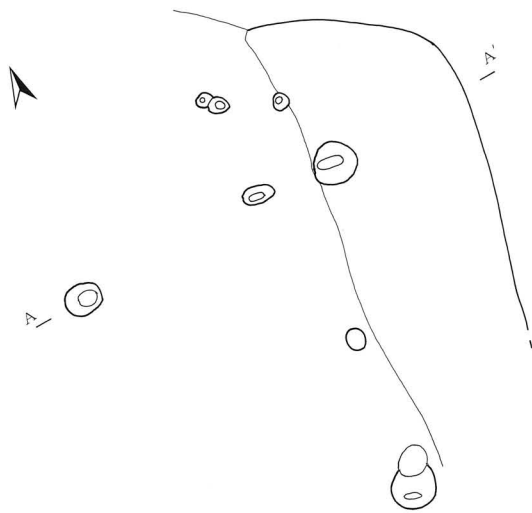
## 第II章 調査の記録

### 第1号住居址

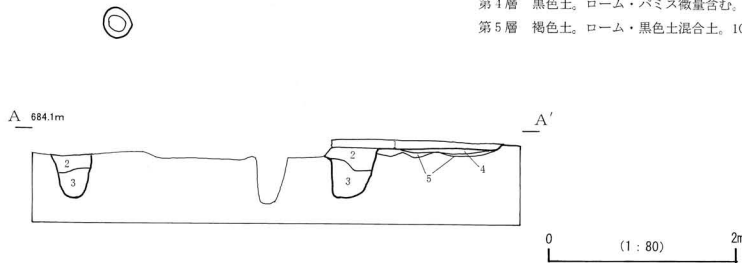
第1号住居址は、調査東区で検出された。支柱の4基と補助柱1基、土器敷炉のみの検出である。遺物は壺・坏・甕・高坏の破片が出土した。弥生時代後期後半代と考えられる。

### 第2号住居址

第2号住居址は、調査東区で検出された。ピットは3基を確認した。弥生時代後期後半代と考えられる。遺物は壺・坏・甕・高坏の破片が出土した。



- 第1層 黒褐色土。ローム・パミス微量含む。10YR2/3
- 第2層 黒褐色土。ローム少量、パミス微量含む。10YR2/3
- 第3層 暗褐色土。ローム多量、パミス・炭化材片微量含む。10YR3/4
- 第4層 黒色土。ローム・パミス微量含む。10YR2/1
- 第5層 褐色土。ローム・黒色土混合土。10YR4/4



第8図 第4号住居址実測図

### 第3号住居址

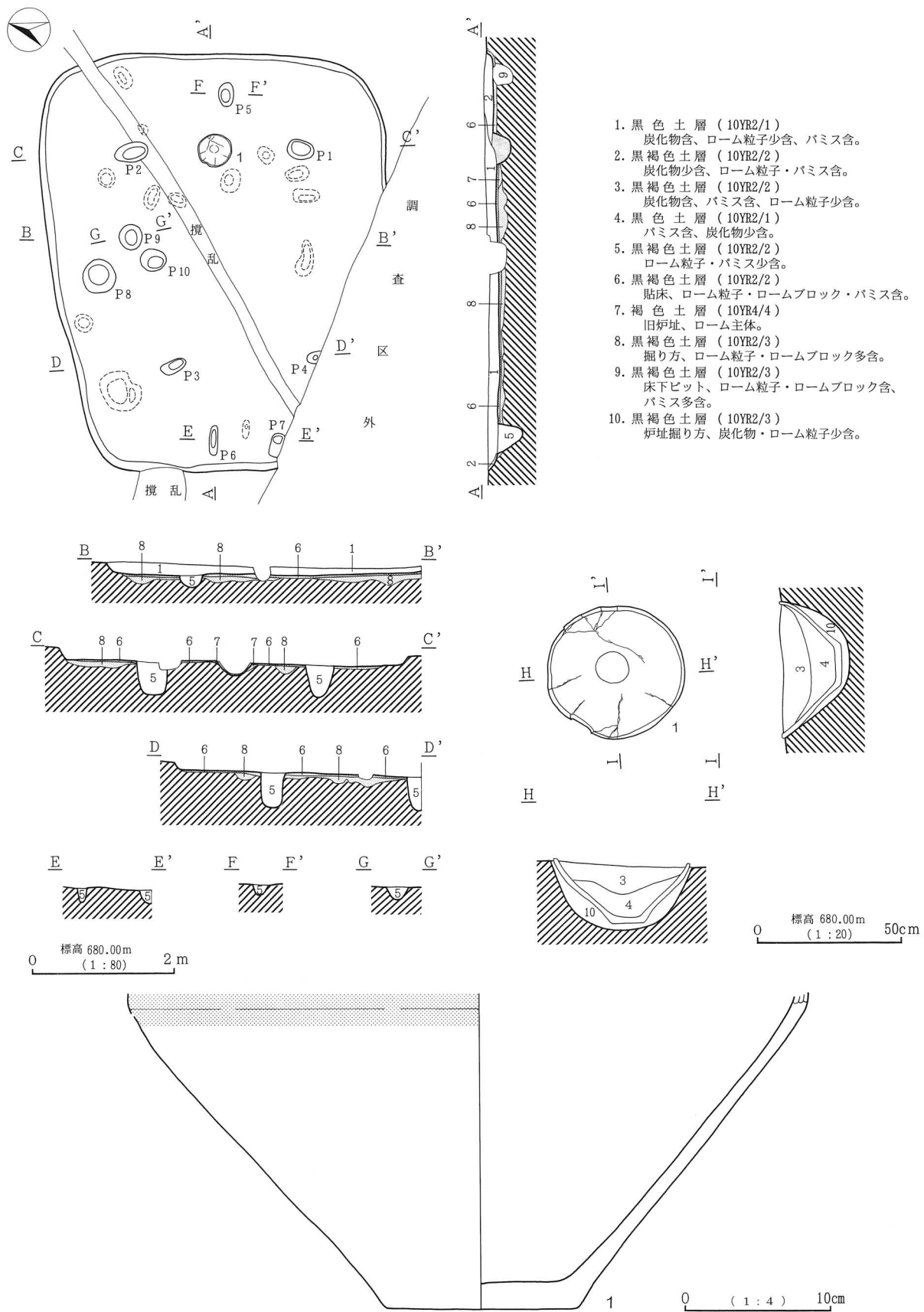
第3号住居址は調査東区で検出された。ピットは27基を確認した。2軒が切り合っているか、拡張と考えられる。遺物は壺・坏・甕・高坏の破片が出土した。弥生時代後期後半代と考えられる。

### 第4号住居址

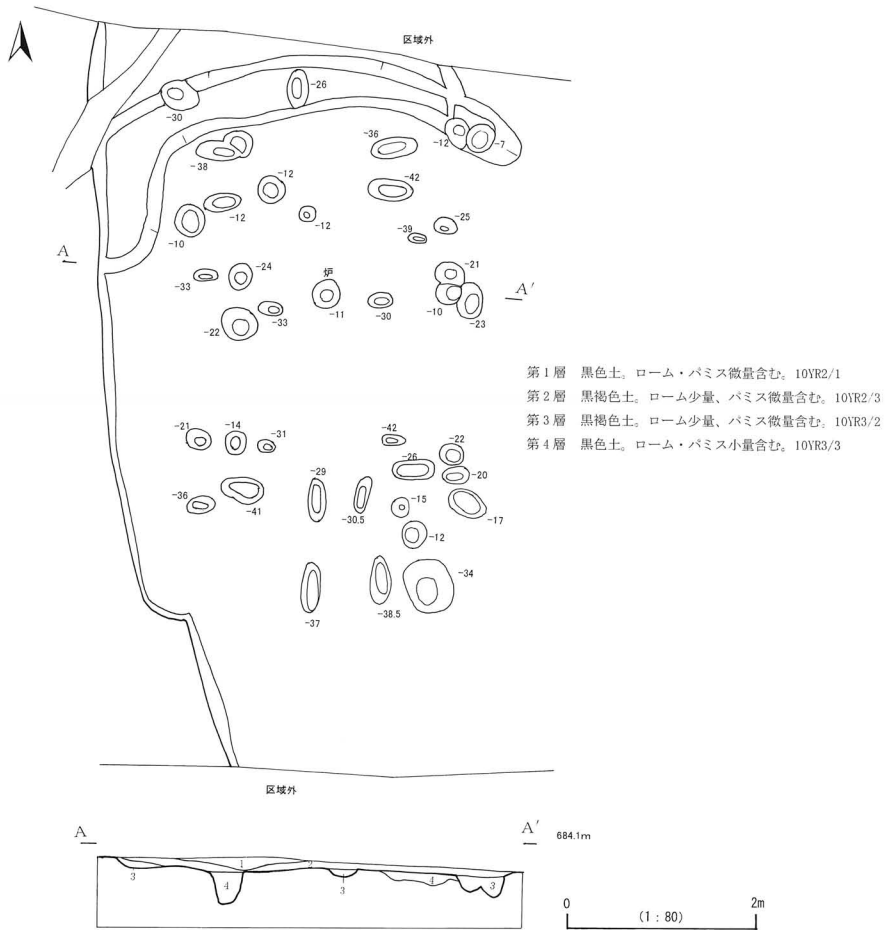
第4号住居址は調査東区で検出された。大半を第3号住居址により破壊される。ピットは8基を確認した。遺物は壺・坏・甕・高坏の破片が出土した。弥生時代後期後半代と考えられる。

### 第5号住居址

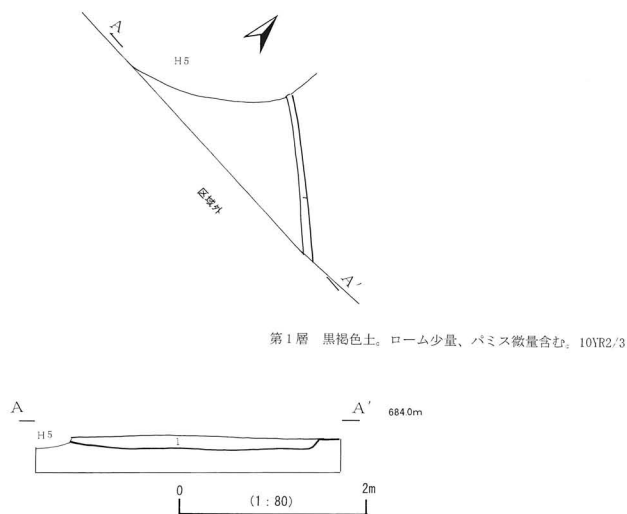
第5号住居址は調査東区で検出された。ピットは21基を確認した。炉は壺底部を利用した土器敷炉である。遺物は、壺・甕・坏の破片が出土した。弥生時代後期後半代と考えられる。



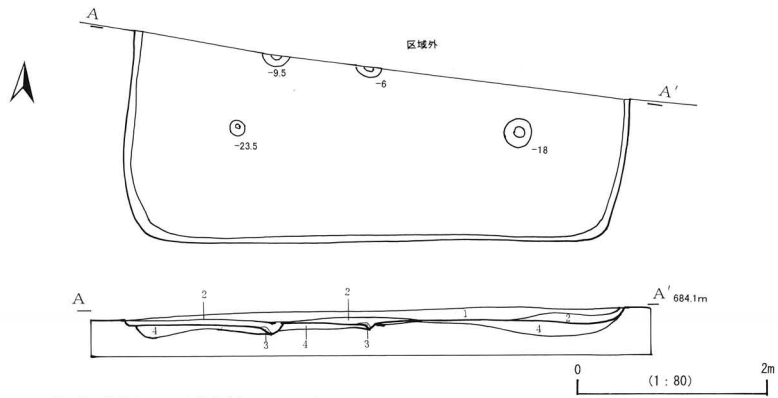
9 図 第5号住居址実測図



第10図 第6号住居址実測図

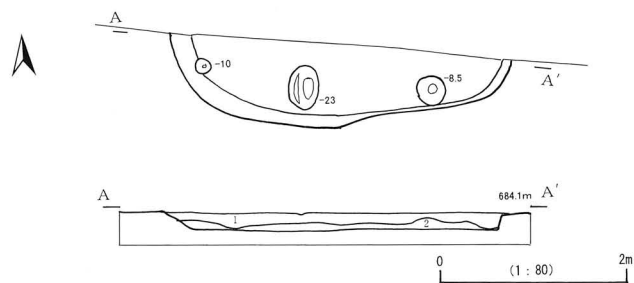


第11図 第7号住居址実測図



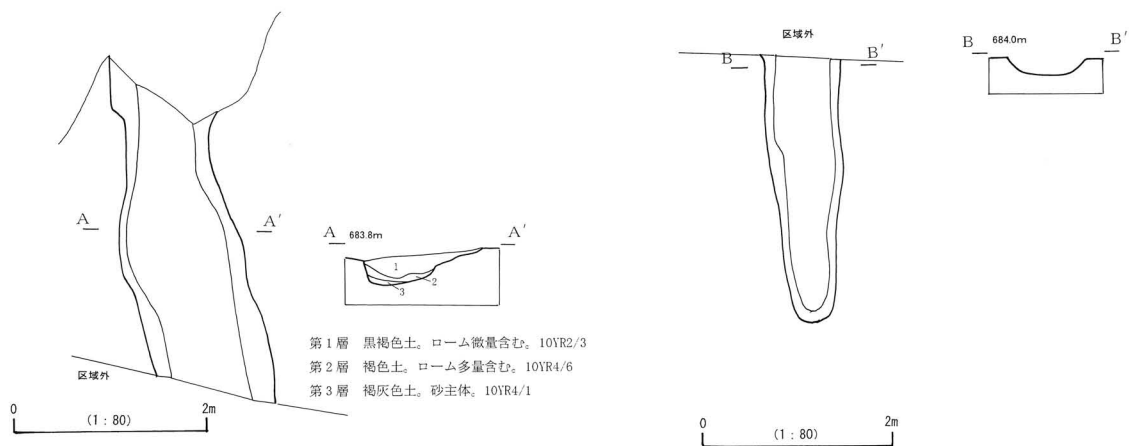
- 第1層 黒色土。ローム微量含む。10YR1.7/1
- 第2層 暗褐色土。ローム少量含む。10YR3/3
- 第3層 暗褐色土。ローム多量含む。10YR3/4
- 第4層 褐色土。粘床。ローム多量、パミス微量含む。10YR4/4

第12図 第11号住居址実測図

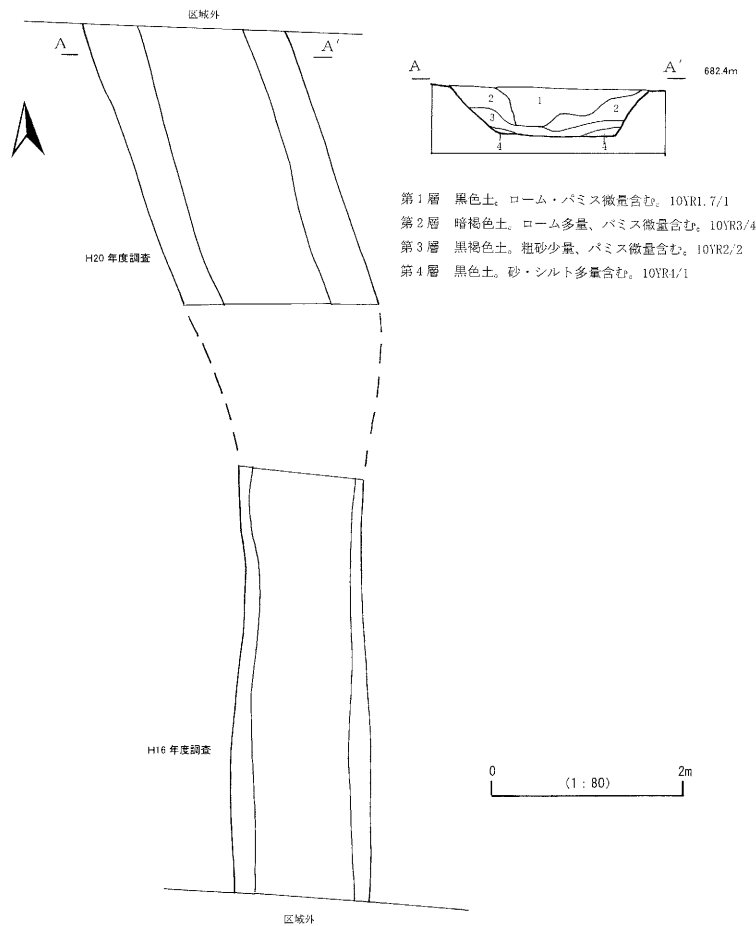


- 第1層 黒色土。ローム・パミス微量含む。10YR1.7/1
- 第2層 黒褐色土。ローム少量、パミス微量含む。10YR3/2

第13図 第12号住居址実測図



第14図 第1号・第2号溝址実測図 (左M1、右M2)



第15図 第4号溝址実測図

## 第6号住居址

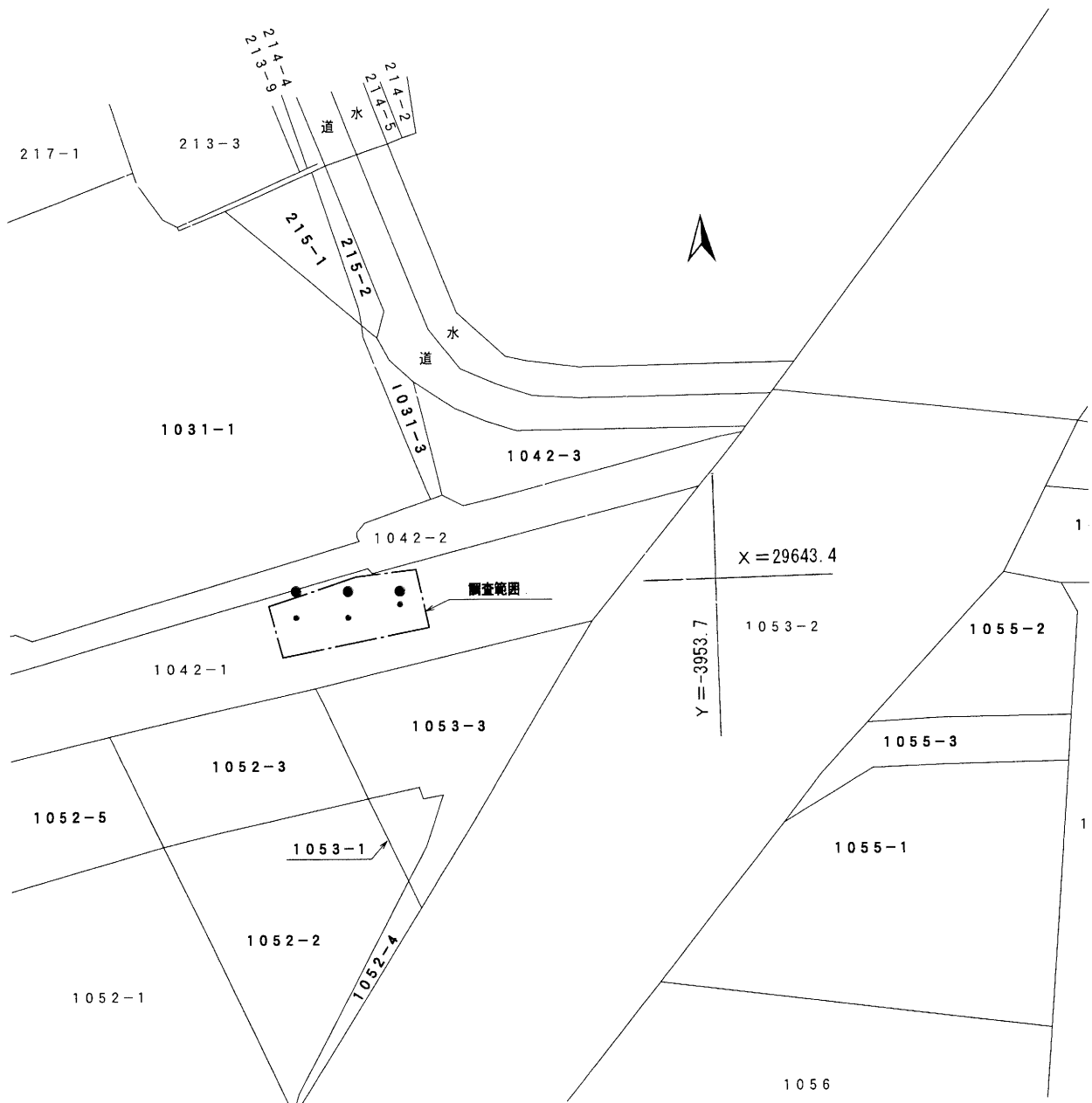
第6号住居址は調査東区で検出された。ピットは38基を確認した。2軒が切り合っている可能性が高い。遺物は、壺・甕・坏の破片が出土した。弥生時代後期後半代と考えられる。

## 第7号住居址

第7号住居址は調査東区で検出された。大半を第5号住居址に破壊される。遺物は、壺・甕・坏の破片が出土した。弥生時代後期後半代と考えられる。

## 第11号住居址

第11号住居址は調査東区で検出された。北側半分は調査区域外である。ピットは4基を確認した。遺物は、壺・甕・坏・高坏の破片が出土した。弥生時代後期終末期と考えられる。



第16図 調査中央区全体図 (1 : 500)

## 第12号住居址

第12号住居址は調査東区で検出された。ピットは3基を確認した。遺物は、壺・甕・坏の破片が出土した。弥生時代後期後半代と考えられる。

## 第1号・第2号溝址

第1号・第2号溝址は調査東区で検出された。弥生時代後期後半以降と考えられる。

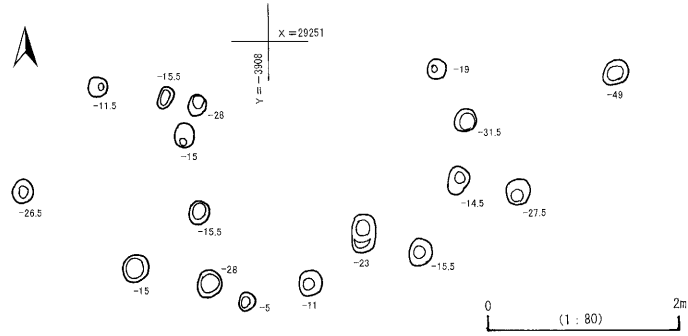
## 第3号溝址

第5号住居址は調査東区で検出された。弥生時代後期以降と考えられる。

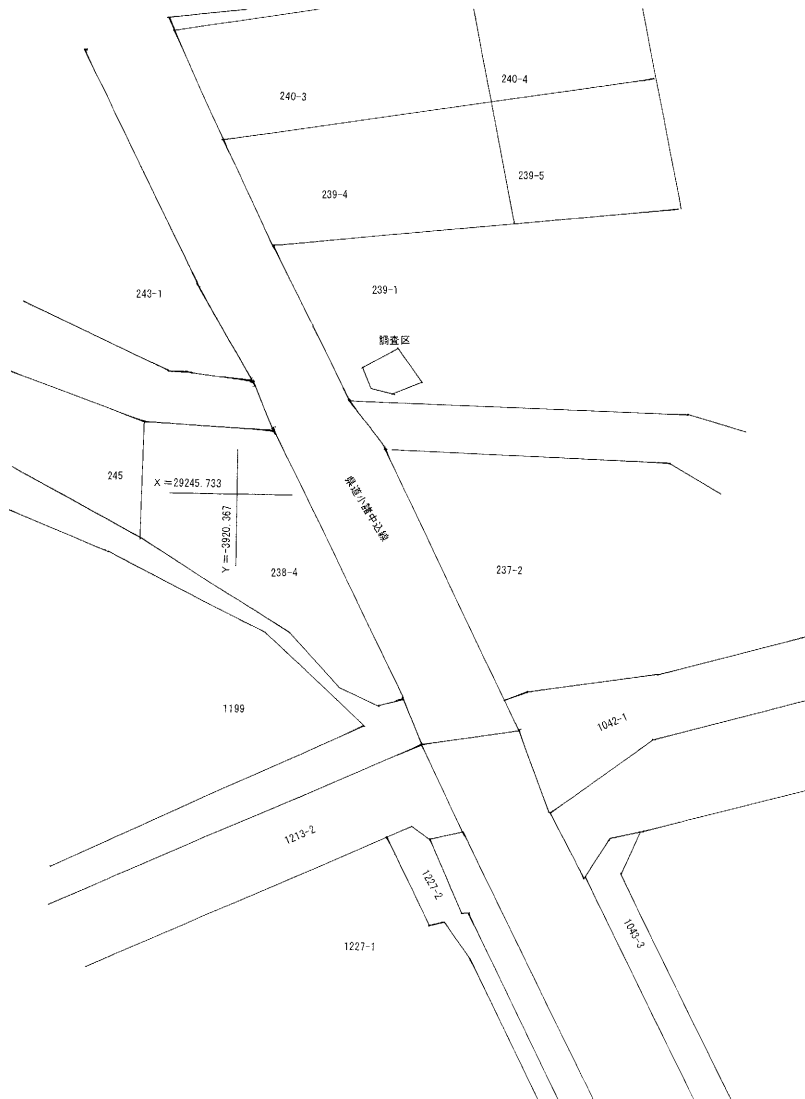


## 第4号溝址

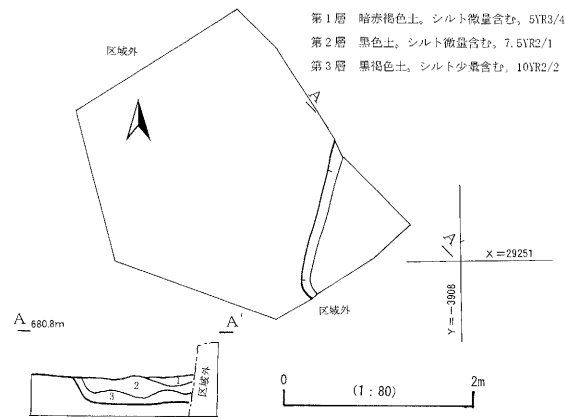
第4号溝址は調査東区で検出された。遺物は、壺・甕・坏・高坏の破片が出土した。過去の調査より、弥生時代後期の集落の周囲を廻る環濠と考えられる。



第17図 ピット群実測図



第18図 調査西区全体図 (1:500)



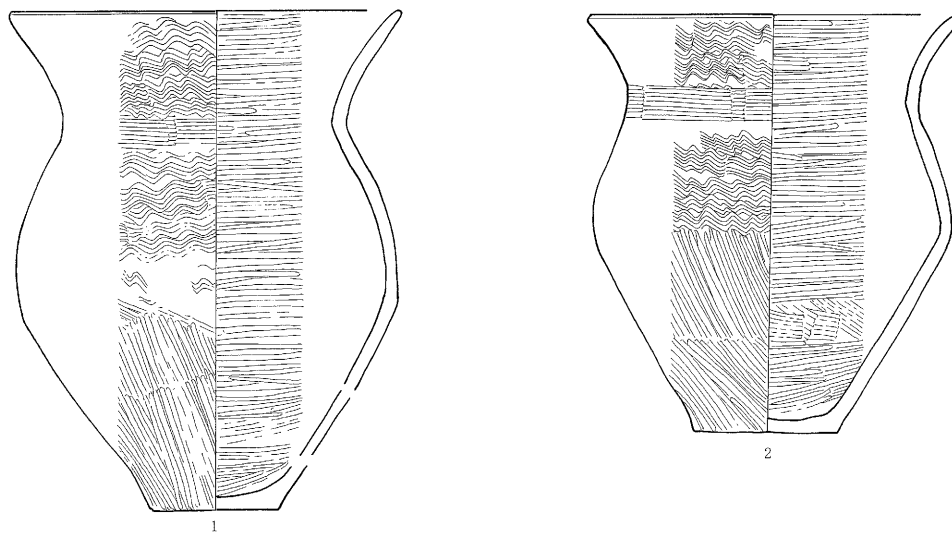
第19図 第1号竖穴遺構実測図

## ピット群

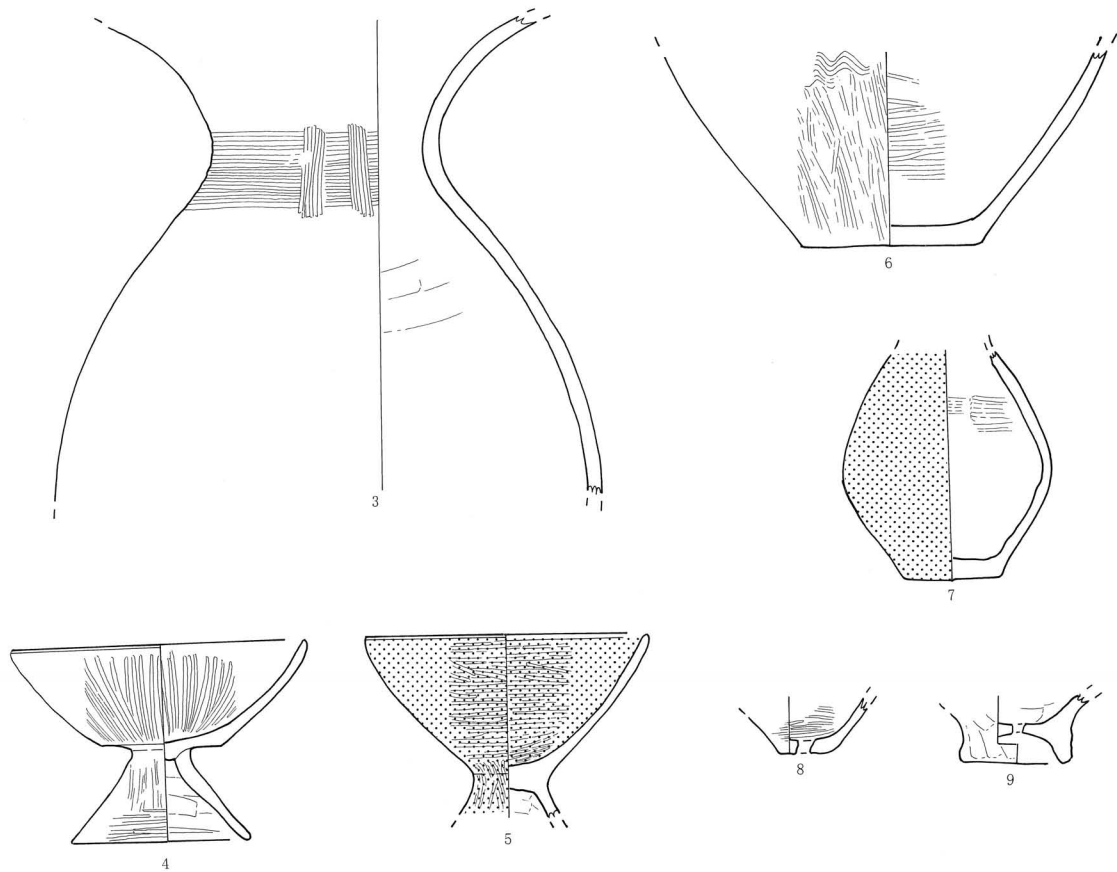
ピット群は調査中央区で検出された。いずれのピットも覆土はローム粒子をごく微量含む黒色土である。遺物は、壺・甕の破片が出土した。弥生時代後期の黒色の遺物包含層下部より検出されたため、弥生時代後期と考えられる。なお含水土壌中の検出であるため、ピット底面の状態が不良で、柱穴址とは断定できない。

## 第1号竖穴遺構

第1号竖穴遺構は調査西区で検出された。平安時代以降と考えられる。



第20図 出土遺物実測図 (1) 1:4



第21図 出土遺物実測図（2）網点は赤色塗彩範囲 1：4

出土遺物一覧表

挿図番号	出土遺構	器種	特徴
20-1	中央包含層	甕	口縁・胴上半外面櫛描波状文、外面頸部簾状文、胴下半外面斜位ヘラミガキ、内面横位ヘラミガキ
20-2	M4	甕	口縁・胴上半外面櫛描波状文、外面頸部簾状文、胴下半外面斜位ヘラミガキ、内面ヘラナデ後横位ヘラミガキ
21-3	H11	壺	頸部外面櫛描「T」字文、外面ヘラミガキ、塗彩なし 内面ヘラナデ
21-4	H11	高坏	体部内外面放射状ヘラミガキ、脚部外面縦位ヘラミガキ 脚部端部外面横位ヘラミガキ、脚部内面ヘラナデ
21-5	H11	高坏	体部内外面横位ヘラミガキ・赤色塗彩、脚部外面縦位ヘラミガキ赤色塗彩、脚部内面ヘラナデ。
21-6	M4	甕	胴中央部外面櫛描波状文、胴下半外面斜位ヘラミガキ、内面ヘラナデ後横位ヘラミガキ
21-7	中央包含層	壺	胴部外面斜位・縦位のヘラミガキ・赤色塗彩、内面ヘラナデ
21-8	東包含層	底部穿孔土器	内外面ヘラミガキ
21-9	東包含層	底部穿孔土器	内外面ヘラナデ

## 層序

調査西区：現耕作土・表土直下に遺構確認面が存在する。深度は36cm～52cmを図る。遺構確認面のシルト・砂層は、平安時代以降に成立した層と推定される。

調査中央区：現耕作土（38cm～45cm）、圃場整備客土（62cm～77cm）、旧耕作土（33cm内外）、黒色包含層（44cmから67cm）の順で遺構確認面に到達する。黒色包含層は弥生時代後期の土器が出土する。

調査東区：南側西部は、現耕作土（36cm～48cm）直下に遺構確認面が存在する。北側西部は、表土（道路碎石、圃場客土、38cm～56cm）直下に遺構確認面が存在する。南側東部は、現耕作土（32cm～48cm）、圃場整備客土（0～168cm）、黒色包含層（0～86cm）の順で遺構確認面に到達する。北側東部は、表土（道路碎石、道路構築土、38cm～44cm）、圃場整備客土（0～173cm）、黒色包含層（0～102cm）の順で遺構確認面に到達する。



調査東区全景 西方より



第1号住居址 西より



第1号住居址 炉



第1号住居址 炉



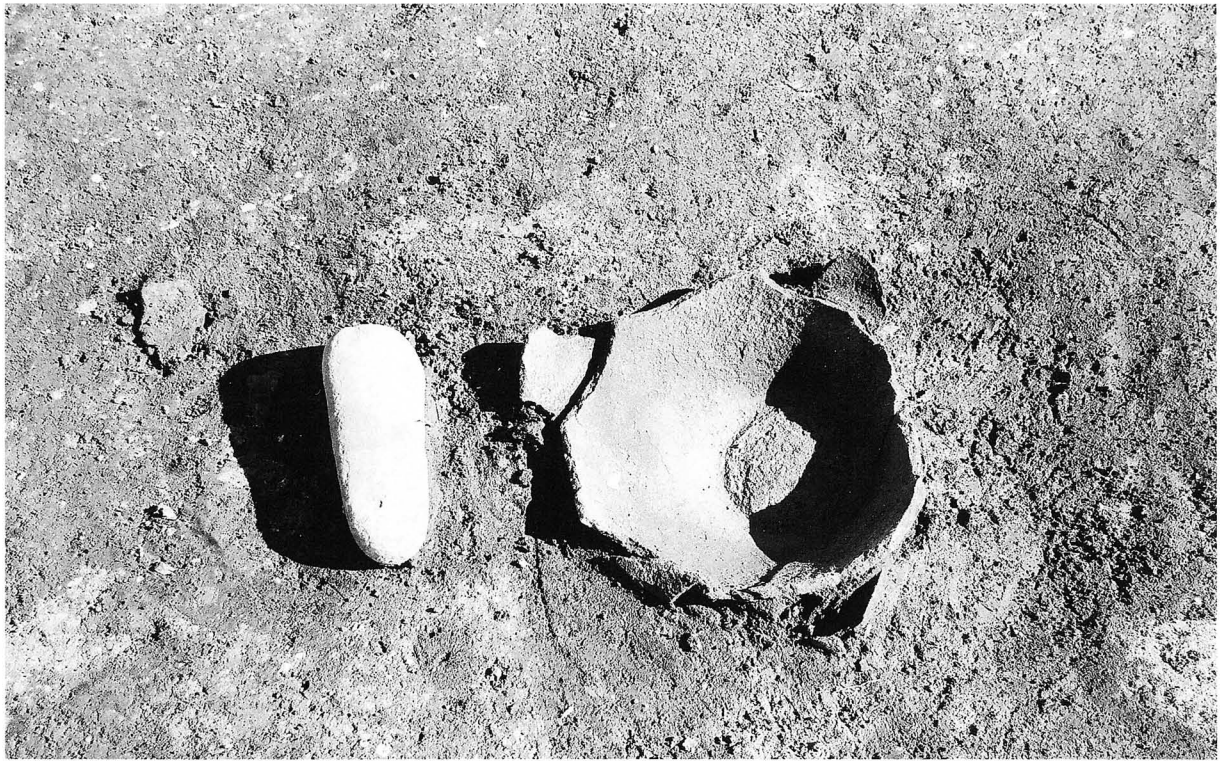
第2号住居址 西方より



第3号住居址 北より



第3号住居址 北西より

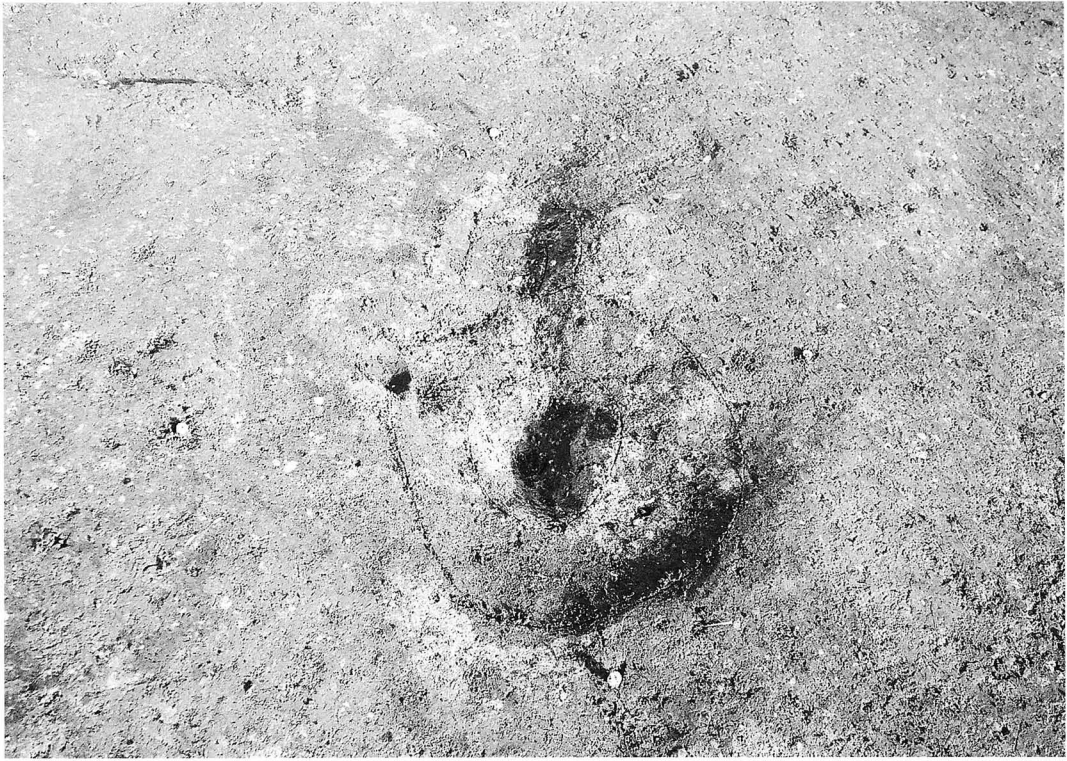


第3号住居址 炉



第3号住居址 掘り方 南より





第3号住居址 炉



第4号住居址 北より



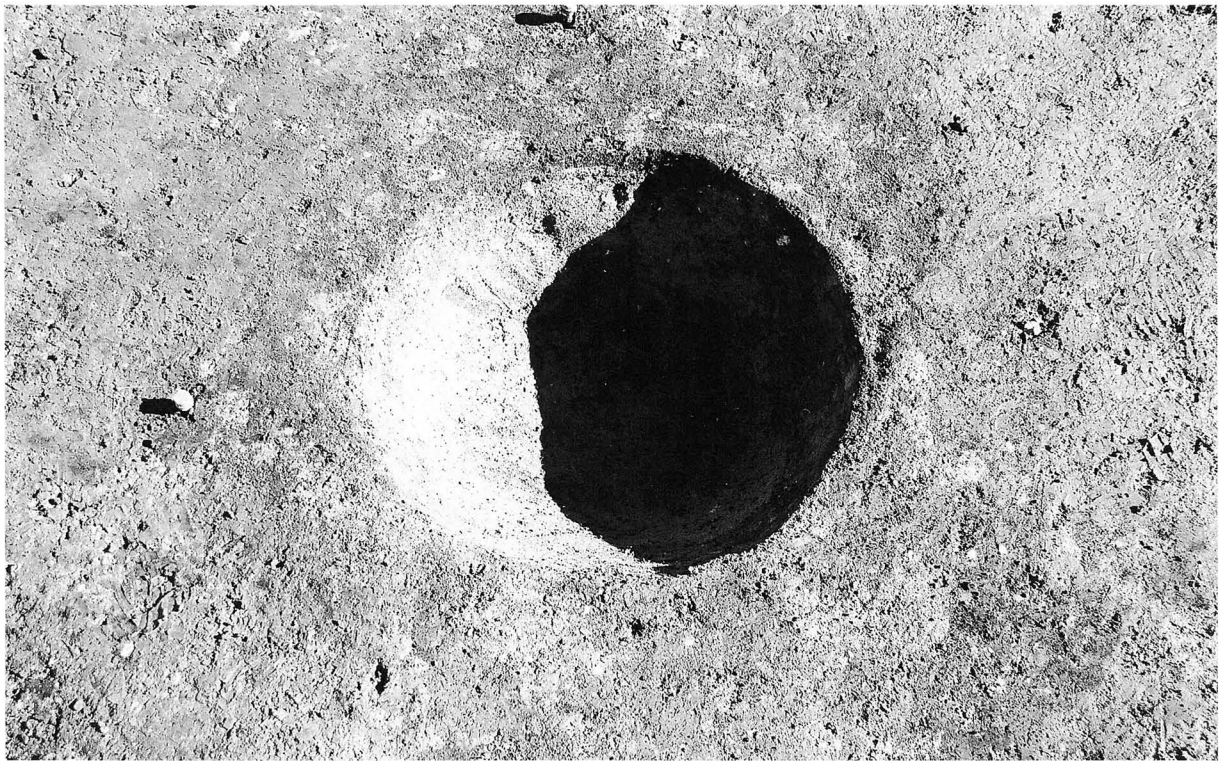
第5号住居址 北より



第5号住居址 炉



第5号住居址 掘り方



第5号住居址 炉



第6号住居址 南方より



第6号住居址 炉



第6号住居址 掘り方 南より



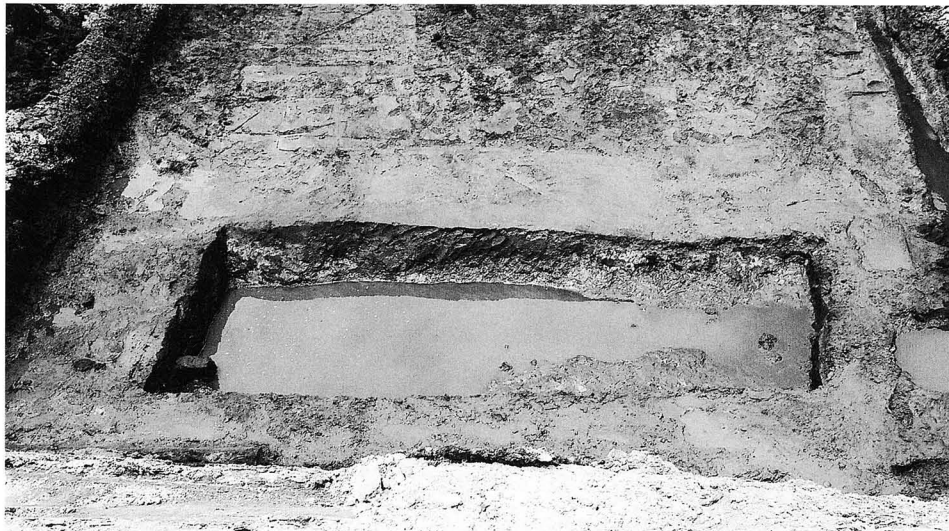
第6号住居址 炉



第7号住居址 北西より



第2号溝址



第4号溝址 南側



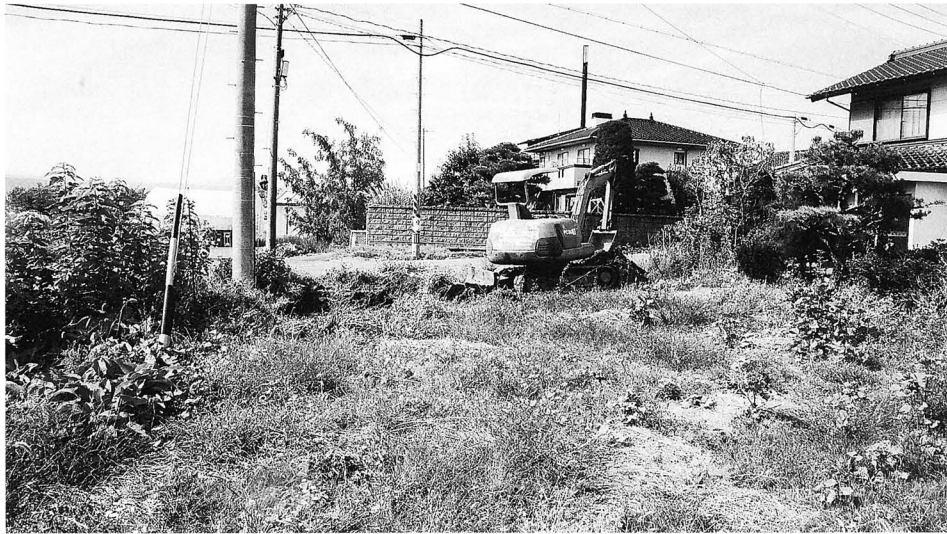
調査東区東側全景 東より



調査東区東側全景 西より



調査西区 第1号竖穴遺構 北方より



調査西区 (県道小諸中込線) 遠景 南より



調査西区近景 東方より





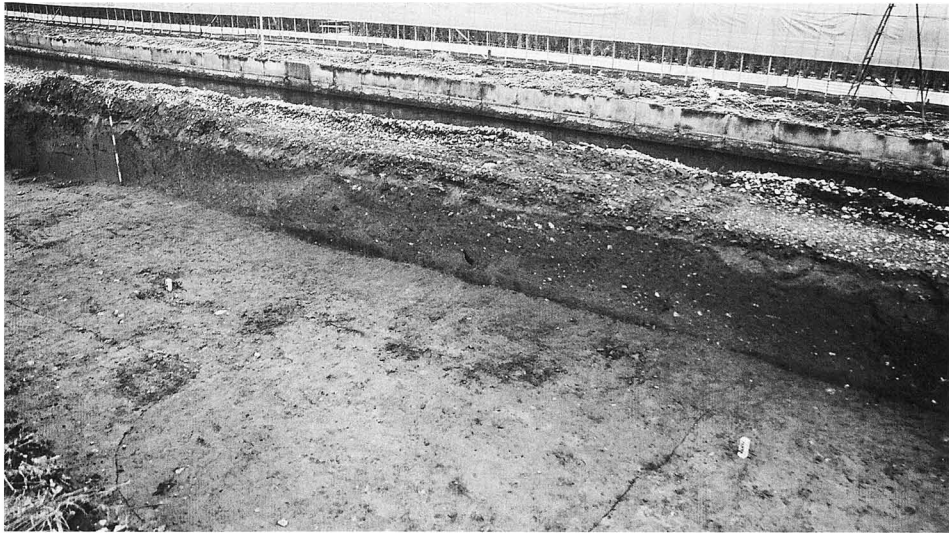
調査中央区調査状況 東方より



調査中央区調査状況 西方より



調査東区北側掘削状況 西方より



調査東区北側 第11号住居址 検出状況 南より



第11号住居址 南より



調査東区北側 第4号溝址 南より



第4号溝址 西方より



調査東区北側 第12号住居址 検出状況 南より



第12号住居址 南より



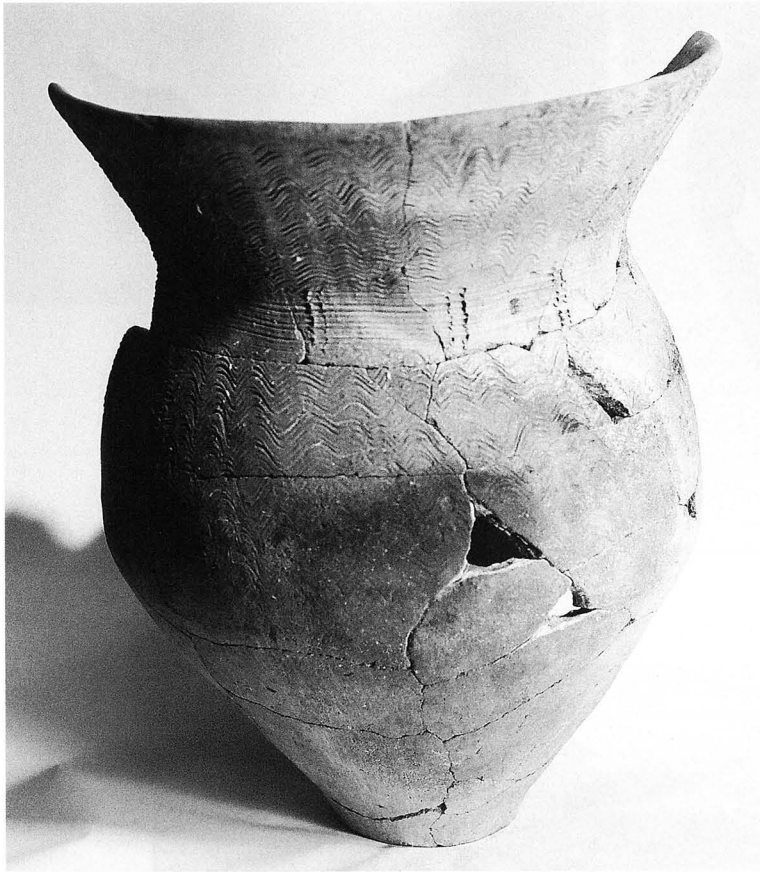
調査東区北側 調査状況 東より



調査中央区 ピット群 西より



調査中央区 ピット群 東より



中央区包含層 甕



東区ピット 坏



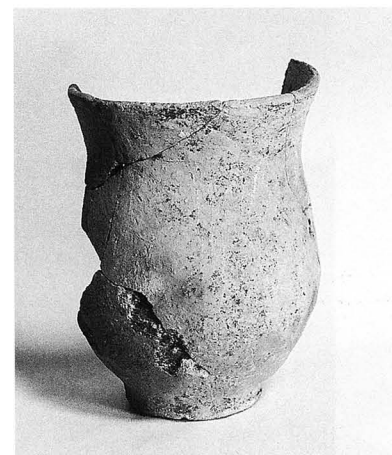
H1 甕



M4 甕



H1 坏



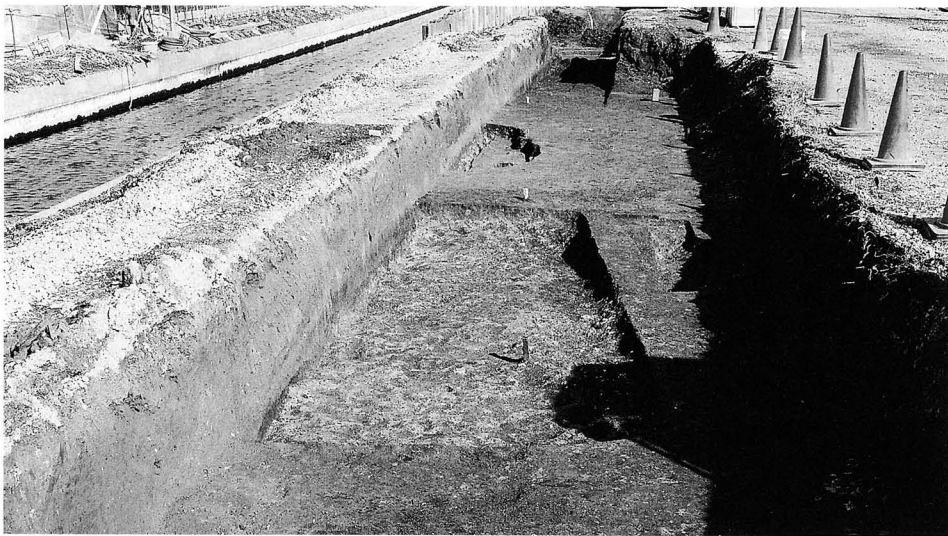
H4 小型甕



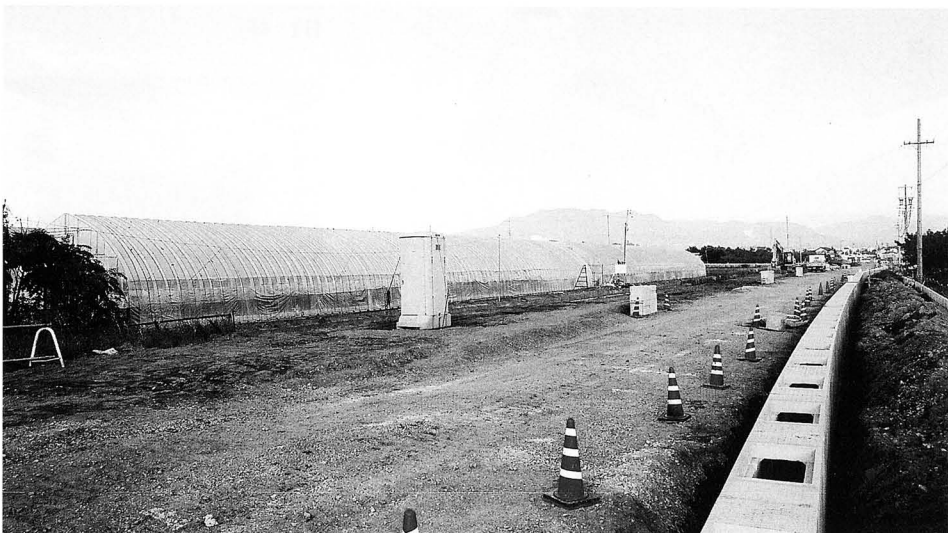
H6 甕



H1 坏



調査東区北側全景 西より



調査東区北側遠景 西方より

---

佐久市埋蔵文化財調査報告書 第188集

西一里塚遺跡Ⅱ

2011年3月

編集・発行 佐久市教育委員会

〒385-8501 長野県佐久市中込3056

文化財課

〒385-0006 長野県佐久市志賀5953

電話 0267-68-7321

印刷所 有限会社ヴィアン

## 報告書抄録

書名	西一里塚遺跡Ⅱ
ふりがな	にしいちりづかいせきに
シリーズ名	佐久市埋蔵文化財報告書
シリーズ番号	第188集
編著者名	羽毛田卓也
編集・発行機関	佐久市教育委員会
発行年月日	2011.3
郵便番号	385-0006
電話番号	0267-68-7321
住所	<small>ながのけんさくししが</small> 長野県佐久市志賀5953
遺跡名	西一里塚遺跡Ⅱ
遺跡所在地	長野県佐久市根々井・平塚
遺跡番号	佐久市—92
経度	東経 138° 27' 25"
緯度	北緯 36° 16' 01"
調査期間	2003.11.15～2011.3.18
調査面積	1,552㎡
調査原因	道路改築
種別	集落址
主な時代	弥生時代
遺跡概要	遺構 住居址9棟他
	遺物 弥生時代後期の土器
特記事項	



